

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン入間店				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車NOx・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的な報告、未達の事業者に対して改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。			○	○	○
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、改正省エネ法の定期報告書の提出している。			○	○	○
02	モーダルシフトの推進 ( )	長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進。また、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送の実施。			○	○	○
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ( )	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。			○	○	○
04	積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。			○	○	○
04	積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更などを実施。			○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>04 積載率の向上</p> <p>(03) 輸送量に応じた適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施</p> <p>(01) 混載便利用の取組</p>	<p>①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み ③海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み ④海外輸入商品の多港あげによる国内幹線輸送の削減</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施</p> <p>(02) 他者との共同輸配送の取組</p>	<p>①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み ②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進</p> <p>(01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨</p>	<p>年2回イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車両には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進</p> <p>(02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認</p>	<p>イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施。</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進</p> <p>(03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認</p>	<p>エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。</p>	○	○	○
<p>07 計画的な貨物輸送の推進</p> <p>(01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。</p>	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 02 ) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車輦満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 03 ) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター)。 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 04 ) 輸送トラックの待ち時間の削減	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○
08 物流の効率化 ----- ( 01 ) サードパーティロジスティクスの活用	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティロジスティクスを実施している。	○	○	○
08 物流の効率化 ----- ( 02 ) 物流拠点の活用	輸送距離の短縮するため、最適な物流ネットワークを構築をめざし、物流センターの整備を行っている。	○	○	○
08 物流の効率化 ----- ( 03 ) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ----- ( )	取引先さまとは、イオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による情報共有を実施。社内関連部署とは環境会議を定期的実施。	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ( )	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。配送業者に対して駐車時のアイドリングを禁止している。	○	○	○
---------------------------------------	---	---	---	---

## 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン入間店				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01 公共交通機関の利用促進 ( 01 ) 公共交通機関利用の啓発	入口2か所にバス時刻表の掲示。	○	○	○			
02 自転車の利用促進 ( 01 ) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	敷地内に4か所、計400台分設置。	○	○	○			
02 自転車の利用促進 ( 02 ) 自転車利用者へサービス・インセンティブの付与	無料空気入れをサイクル売場前に設置。	○	○	○			
02 自転車の利用促進 ( 03 ) 自転車利用者の利便性の向上	店入口までスムーズに入れるように、一般道路から店敷地内への段差にはスロープを設置している。	○	○	○			
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ( 03 ) 電気自動車用充電器等の整備	電気自動車用充電ステーションの設置。急速充電器1機、普通充電器1機設置。	○	○	○			

# 自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 01 ) 交通整理員の配置	メイン道路信号機の場所に、繁忙期に交通警備員の配置。商品搬入の出入り口は、常時交通警備員の配置をしている。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 02 ) スムーズな入出庫のための取組	周辺道路の渋滞緩和のため、出入り口に交通警備員を配置、進行方向に配慮している。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 03 ) 施設周辺に交通案内看板の設置	敷地内に入車する場合の進行方向の表示をしている。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 04 ) その他渋滞防止策	駐車場の利用者に対して、混雑のおりは、臨時交通警備員を配置いたし、渋滞緩和をするよう誘導している。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... ( 01 ) 荷物の宅配サービスの実施	お買い上げ商品において、持ち帰りが難しい大型商品や重い商品においては、「イオンの即日便」で宅配サービスを実施している。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... ( 02 ) インターネット等を利用した物品販売の促進	イオンネットスーパーで、毎日の生活に必要な食料品・日用品をご注文のお客さまへお届けするサービスを実施している。	○	○	○

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンモール浦和美園・イオン浦和美園店			
	取組措置		具体的取組措置	H30	H31	H32

# 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定  (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認</p>	<p>イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車NOx・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的な報告、未達の事業者に対して改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。</p>	○	○	○
<p>01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定  (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認</p>	<p>イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、改正省エネ法の定期報告書の提出している。</p>	○	○	○
<p>02 モーダルシフトの推進  ( )</p>	<p>長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進。また、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送の実施。</p>	○	○	○
<p>03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握  ( )</p>	<p>業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上  (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上</p>	<p>①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上  (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施</p>	<p>PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更などを実施。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上  (03) 輸送量に応じた適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施</p> <p>( 01 ) 混載便利用の取組</p>	<p>①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み ③海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み ④海外輸入商品の多港あげによる国内幹線輸送の削減</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施</p> <p>( 02 ) 他者との共同輸配送の取組</p>	<p>①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み ②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進</p> <p>( 01 ) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨</p>	<p>年2回イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車輛には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進</p> <p>( 02 ) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認</p>	<p>イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施。</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進</p> <p>( 03 ) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認</p>	<p>エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。</p>	○	○	○
<p>07 計画的な貨物輸送の推進</p> <p>( 01 ) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。</p>	○	○	○
<p>07 計画的な貨物輸送の推進</p> <p>( 02 ) 多頻度少量輸送の見直し</p>	<p>高回転商品については、極力発注単位がFTL(車輛満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。</p>	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

07 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター)。 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (04) 輸送トラックの待ち時間の削減	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○
08 物流の効率化 (01) サードパーティロジスティクスを活用	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティロジスティクスを実施している。	○	○	○
08 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	輸送距離の短縮するため、最適な物流ネットワークを構築をめざし、物流センターの整備を行っている。	○	○	○
08 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ( )	取引先さまとは、イオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による情報共有を実施。社内関連部署とは環境会議を定期的実施。	○	○	○
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ( )	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。配送業者に対して駐車時のアイドリングを禁止している。	○	○	○



# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンモール浦和美園・イオン浦和美園店		
取組措置		具体的取組措置	H30	H31	H32
01	公共交通機関の利用促進 ----- (01) 公共交通機関利用の啓発	インフォメーションより、店内放送にて「電車やバスの公共交通機関ご利用」促進を定期的にアナウンスを実施する。	○	○	○
02	自転車の利用促進 ----- (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	敷地内に2400台の駐輪場を確保しており、これまで満車になったことがなく十分な広さを維持できている。	○	○	○
02	自転車の利用促進 ----- (02) 自転車利用者へサービス・インセンティブの付与	イオンバイクにて、毎月9日・19日・29日は「安全10項目点検」を実施している。	○	○	○
02	自転車の利用促進 ----- (03) 自転車利用者の利便性の向上	敷地内の駐輪場は年中無料で提供	○	○	○
03	来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (01) 低燃費車利用の啓発	電気(100%)自動車の充電ステーションを平成30年に9台増設し、十分な台数を確保した。	○	○	○
03	来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (02) 低燃費車利用者へのサービス・インセンティブの付与	平成30年に増設した9台の充電ステーションは無料	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ..... ( 03 ) 電気自動車用充電器等の整備	既に急速充電機2台に加え、平成30年に普通充電機9台を増設した。	○	○	○
04 来場者に対するエコドライブの啓発 ..... ( )	アイドリングストップのポスターを店内・駐車場に掲示している。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 01 ) 交通整理員の配置	平日3名、土日はその8倍～10倍の人員体制で敷地内外の駐車場に配置している。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 02 ) スムーズな入出庫のための取組	周辺道路の渋滞緩和のため、平成29年に駐車場出口を2ヶ所移設し、主な出入り口には交通整理員を配置し、渋滞緩和・事故防止に配慮している。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 03 ) 施設周辺に交通案内看板の設置	敷地内駐車場における出口案内や駐車場出口における方面の案内を実施している。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 04 ) その他渋滞防止策	埼玉スタジアム2002にてサーカーイベントが開催され、かつ、周辺道路が極めて混雑した場合、ゲートバー策を講じている。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... ( 01 ) 荷物の宅配サービスの実施	平成30年より即日便サービス(「とどくんです。」)を開始し、店舗内入口に専用カウンターを設置した。	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

06 宅配サービスの実施等 ..... ( 02 ) インターネット等を利用した物品販売の促進	平成30年よりイオンのネットスーパーの受注枠を拡大するとともに、店頭受け取りサービスを開始した。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... ( 03 ) 再配達防止の取組や効率のよい配送の取組	平成30年よりネットスーパーの受注枠拡大した。	○	○	○

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン大井店	H30	H31	H32	
取組措置		具体的取組措置					
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ..... ( 01 ) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車NOx・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的な報告、未達の事業者に対して改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。			○	○	○	
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ..... ( 02 ) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、改正省エネ法の定期報告書の提出している。			○	○	○	
02 モーダルシフトの推進 ..... ( )	長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進。また、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送の実施。			○	○	○	
03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ..... ( )	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。			○	○	○	

# 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>04 積載率の向上  (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上</p>	<p>①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上  (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施</p>	<p>PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更などを実施。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上  (03) 輸送量に応じた適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施  (01) 混載便利用の取組</p>	<p>①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み  ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み  ③海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み  ④海外輸入商品の多港あげによる国内幹線輸送の削減</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施  (02) 他者との共同輸配送の取組</p>	<p>①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み  ②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進  (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨</p>	<p>年2回イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車両には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進  (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認</p>	<p>イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施。</p>	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車輦満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター)。 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (04) 輸送トラックの待ち時間の削減	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○
08 物流の効率化 (01) サードパーティロジスティクスの活用	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティロジスティクスを実施している。	○	○	○
08 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	輸送距離の短縮するため、最適な物流ネットワークを構築をめざし、物流センターの整備を行っている。	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

08 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ( )	取引先さまとは、イオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による情報共有を実施。社内関連部署とは環境会議を定期的実施。	○	○	○
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ( )	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。配送業者に対して駐車時のアイドリングを禁止している。	○	○	○

### 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン大井店				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発	電車・バスの時刻表の掲示			○	○	○	
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	敷地内の自転車置き場の整理、駐輪スペースの確保			○	○	○	
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (03) 電気自動車用充電器等の整備	普通充電器、急速充電器の設置			○	○	○	

## 自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 01 ) 交通整理員の配置	土日・祝祭日、年末年始については、交通誘導員を配置	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 02 ) スムーズな入出庫のための取組	土日・祝祭日、年末年始については、交通誘導員を配置	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 03 ) 施設周辺に交通案内看板の設置	渋滞緩和と安全誘導のために左折禁止等の看板設置	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 04 ) その他渋滞防止策	祭りやイベントなどにより渋滞が予想される場合には、誘導員の増員や開催関係者と協力体制を取っています。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... ( 01 ) 荷物の宅配サービスの実施	購入した商品の即日配達サービスや大型商品の専門配送を実施しています。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... ( 02 ) インターネット等を利用した物品販売の促進	ネットスーパーによるインターネット注文、販売を行っています。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... ( 03 ) 再配達防止の取組や効率のよい配送の取組	当日、出庫時にお届け先への再確認を実施しています。	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン大宮店				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車NOx・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的な報告、未達の事業者に対して改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。			○	○	○
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、改正省エネ法の定期報告書の提出している。			○	○	○
02	モーダルシフトの推進 ( )	長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進。また、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送の実施。			○	○	○
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ( )	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。			○	○	○
04	積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。			○	○	○
04	積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更などを実施。			○	○	○



# 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>04 積載率の向上</p> <p>(03) 輸送量に応じた適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施</p> <p>(01) 混載便利用の取組</p>	<p>①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み ③海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み ④海外輸入商品の多港あげによる国内幹線輸送の削減</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施</p> <p>(02) 他者との共同輸配送の取組</p>	<p>①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み ②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進</p> <p>(01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨</p>	<p>年2回イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車両には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進</p> <p>(02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認</p>	<p>イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施。</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進</p> <p>(03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認</p>	<p>エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。</p>	○	○	○
<p>07 計画的な貨物輸送の推進</p> <p>(01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。</p>	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 02 ) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車輦満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 03 ) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター)。 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 04 ) 輸送トラックの待ち時間の削減	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○
08 物流の効率化 ----- ( 01 ) サードパーティロジスティクスの活用	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティロジスティクスを実施している。	○	○	○
08 物流の効率化 ----- ( 02 ) 物流拠点の活用	輸送距離の短縮するため、最適な物流ネットワークを構築をめざし、物流センターの整備を行っている。	○	○	○
08 物流の効率化 ----- ( 03 ) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ----- ( )	取引先さまとは、イオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による情報共有を実施。社内関連部署とは環境会議を定期的実施。	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ( )	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。配送業者に対して駐車時のアイドリングを禁止している。	○	○	○
---------------------------------------	---	---	---	---

## 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン大宮店		
取組措置		具体的取組措置	H30	H31	H32
01 公共交通機関の利用促進 ( 01 ) 公共交通機関利用の啓発	店頭出入口にバスの時刻表を掲示している。	○	○	○	
02 自転車の利用促進 ( 01 ) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	敷地内に駐輪場を2箇所1,230台を整備している。	○	○	○	
02 自転車の利用促進 ( 03 ) 自転車利用者の利便性の向上	1Fサイクル売場内に、お客さま用の無料空気入れを設置	○	○	○	
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ( 03 ) 電気自動車用充電器等の整備	駐車場内に電気自動車の急速充電ステーション1台を設置している。また、普通充電1台も設置。	○	○	○	
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ( 01 ) 交通整理員の配置	土・日・祝日、特定のセール日には、出入口に交通整理員を配置している。	○	○	○	

## 自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... (02) スムーズな入出庫のための取組	土・日・祝日、特定のセール日には、出入口に交通整理員を配置し対応している。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... (03) 施設周辺に交通案内看板の設置	駐車場出口に方面の案内看板を設置している。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... (01) 荷物の宅配サービスの実施	サービスカウンターにて、即日便の受付を実施。	○	○	○
07 サイクルシェアリング及びカーシェアリングの普及促進 ..... (01) レンタサイクル及びコミュニティサイクルの推進	さいたま市コミュニティサイクルのサイクルポートを敷地内の一角に設置している。	○	○	○
08 その他の必要な取組 ..... (01)	駐車時のアイドリングストップを呼び掛けるPOPの掲示による取組	○	○	○

### 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン大宮西店				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
02 自転車の利用促進 ..... (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	敷地内に駐輪場を5か所設置			○	○	○	

# 自動車地球温暖化対策実施方針

03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ..... (03) 電気自動車用充電器等の整備	地下駐車場に電気自動車用充電器を整備(2箇所)	○	○	○
04 来場者に対するエコドライブの啓発 ..... ( )	アイドリングストップのお願い等の店内放送実施	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... (01) 交通整理員の配置	渋滞緩和のため車両が多い時間帯に入口へ配置	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... (03) 施設周辺に交通案内看板の設置	周辺へ、交通案内看板を設置	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... (01) 荷物の宅配サービスの実施	お買い上げ商品において、持ち帰りが難しい大型商品や重い商品においては、「イオンの即日便」で宅配サービスを実施している。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	イオンネットスーパーで、毎日の生活に必要な食料品・日用品をご注文のお客さまへお届けするサービスを実施している。	○	○	○

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン春日部店			
	取組措置		具体的取組措置	H30	H31	H32

## 自動車地球温暖化対策実施方針

01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車NOx・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的な報告、未達の事業者に対して改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。	○	○	○
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、改正省エネ法の定期報告書の提出している。	○	○	○
02 モーダルシフトの推進 ( )	長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進。また、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送の実施。	○	○	○
03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ( )	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。	○	○	○
04 積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。	○	○	○
04 積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更などを実施。	○	○	○
04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施</p> <p>( 01 ) 混載便利用の取組</p>	<p>①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み ③海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み ④海外輸入商品の多港あげによる国内幹線輸送の削減</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施</p> <p>( 02 ) 他者との共同輸配送の取組</p>	<p>①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み ②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進</p> <p>( 01 ) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨</p>	<p>年2回イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車輛には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進</p> <p>( 02 ) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認</p>	<p>イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請年2回、低燃費車の車輛台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進</p> <p>( 03 ) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認</p>	<p>エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。</p>	○	○	○
<p>07 計画的な貨物輸送の推進</p> <p>( 01 ) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。</p>	○	○	○
<p>07 計画的な貨物輸送の推進</p> <p>( 02 ) 多頻度少量輸送の見直し</p>	<p>高回転商品については、極力発注単位がFTL(車輛満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。</p>	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

07 計画的な貨物輸送の推進 ( 03 ) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター)。 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ( 04 ) 輸送トラックの待ち時間の削減	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○
08 物流の効率化 ( 01 ) サードパーティロジスティクスの活用	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティロジスティクスを実施している。	○	○	○
08 物流の効率化 ( 02 ) 物流拠点の活用	輸送距離の短縮するため、最適な物流ネットワークを構築をめざし、物流センターの整備を行っている。	○	○	○
08 物流の効率化 ( 03 ) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ( )	取引先さまとは、イオン鉄道輸送研究会、イオン環境車輛研究会による情報共有を実施。社内関連部署とは環境会議を定期的実施。	○	○	○
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ( )	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。配送業者に対して駐車時のアイドリングを禁止している。	○	○	○



# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン春日部店				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01	公共交通機関の利用促進 ----- ( 01 ) 公共交通機関利用の啓発	バス路線図の掲示とバス時刻表の無料配布			○	○	○
02	自転車の利用促進 ----- ( 01 ) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	ショッピングセンター敷地内に820台分の駐輪場を設置しています			○	○	○
02	自転車の利用促進 ----- ( 02 ) 自転車利用者へサービス・インセンティブの付与	3ヶ所に「無料の空気入れ」を設置しています			○	○	○
02	自転車の利用促進 ----- ( 03 ) 自転車利用者の利便性の向上	ショッピングセンター敷地内に820台分の駐輪場を設置しています			○	○	○
03	来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- ( 03 ) 電気自動車用充電器等の整備	駐車場内2ヶ所に電気自動車用充電器を設置			○	○	○
04	来場者に対するエコドライブの啓発 ----- ( )	アイドリングストップ宣言やエコ・ドライブポスターを掲示し啓蒙			○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 01 ) 交通整理員の配置	日曜祝日に交通誘導警備員の配置	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 02 ) スムーズな入出庫のための取組	時間帯で誘導対応する警備員の配置	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 03 ) 施設周辺に交通案内看板の設置	駐車場内に案内看板は設置済み	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 04 ) その他渋滞防止策	混雑時に敷地一部を臨時駐車場として開放	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... ( 01 ) 荷物の宅配サービスの実施	即日便にて当日お買い上げ品の宅配実施、お中元・お歳暮・母の日等金額設定での無料配送の実施	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... ( 02 ) インターネット等を利用した物品販売の促進	食品を中心にネットスーパーにてインターネット販売を実施	○	○	○

## 《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン春日部店			
	取組措置		具体的取組措置	H30	H31	H32

# 自動車地球温暖化対策実施方針

01 マイカー通勤に係る重点目標の設定 ( )	マイカー通勤の条件を設定、条件を満たした場合のみマイカー通勤を許可。	○	○	○
02 公共交通機関への転換の推進 (01) 公共交通機関利用促進のための情報提供	従業員通用口にバス時刻表を掲示、利便性向上を確保継続維持	○	○	○
02 公共交通機関への転換の推進 (03) 公共交通機関利用者への優遇策	公共交通機関利用者の通勤手当は社内規定により運用	○	○	○
03 自転車への転換の推進 (01) 自転車の安全利用の促進	自転車通勤者へ(埼玉県条例に沿った)「賠償責任保険加入」を促進	○	○	○
03 自転車への転換の推進 (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	従業員通用口近辺に駐輪場を設置	○	○	○
03 自転車への転換の推進 (03) 更衣室等自転車通勤者向け設備の設置・維持管理	更衣室スペースは確保設置	○	○	○
03 自転車への転換の推進 (04) 自転車通勤者への優遇策	社内規定により「自転車通勤者」への交通費支給	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

04 時差通勤の実施 ( )	開店前から閉店後の作業まで、業務に合わせて勤務時間を計画、勤務時間に合わせた時差通勤の実施。	○	○	○
07 エコドライブの推進 (01) エコドライブの啓発	後方スペースにアイドリングストップ宣言やエコドライブポスター等を掲示し啓蒙	○	○	○
09 その他の必要な取組 (01)	業務使用の社有車において電気自動車を使用しています	○	○	○

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン川口店				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車NOx・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的な報告、未達の事業者に対して改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。			○	—	—	
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、改正省エネ法の定期報告書の提出している。			○	—	—	
02 モーダルシフトの推進 ( )	長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進。また、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送の実施。			○	—	—	

## 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ( )</p>	<p>業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、 改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。</p>	○	-	-
<p>04 積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上</p>	<p>①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモ ジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。</p>	○	-	-
<p>04 積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施</p>	<p>PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包 装への変更などを実施。</p>	○	-	-
<p>04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発 注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	-	-
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 (01) 混載便利用の取組</p>	<p>①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み ③海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み ④海外輸入商品の多港あげによる国内幹線輸送の削減</p>	○	-	-
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 (02) 他者との共同輸配送の取組</p>	<p>①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み ②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減</p>	○	-	-
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載 車の利用を推奨</p>	<p>年2回イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進 捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車 開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情 報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車輛には、省 エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。</p>	○	-	-

## 自動車地球温暖化対策実施方針

06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施。	○	—	—
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	—	—
07 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	—	—
07 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車両満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	—	—
07 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを指示している。高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター)、渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、調整している。	○	—	—
07 計画的な貨物輸送の推進 (04) 輸送トラックの待ち時間の削減	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	—	—
08 物流の効率化 (01) サードパーティロジスティクスの活用	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティロジスティクスを実施している。	○	—	—

## 自動車地球温暖化対策実施方針

08 物流の効率化 ..... ( 02 ) 物流拠点の活用	輸送距離の短縮するため、最適な物流ネットワークを構築をめざし、物流センターの整備を行っている。	○	—	—
08 物流の効率化 ..... ( 03 ) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	—	—
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ..... ( )	取引先さまとは、イオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による情報共有を実施。社内関連部署とは環境会議を定期的実施。	○	—	—
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ..... ( )	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。配送業者に対して駐車時のアイドリングを禁止している。	○	—	—

### 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン川口店				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01 公共交通機関の利用促進 ..... ( 01 ) 公共交通機関利用の啓発	バス路線図の掲示とバス時刻表の無料配布の実施			○	—	—	
02 自転車の利用促進 ..... ( 01 ) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	現状1000台の駐輪場を確保し、維持管理に努めている。			○	—	—	

## 自動車地球温暖化対策実施方針

02 自転車の利用促進 (02) 自転車利用者へサービス・インセンティブの付与	無償で使用できる空気入れを設置している。	○	-	-
04 来場者に対するエコドライブの啓発 ( )	駐車場内にアイドリングストップ等の看板を設置している。また、出入口等にエコドライブ推進のポスターを掲示している。	○	-	-
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	車での来店が多い土日祝日は外周に警備員を立哨させ、道路混雑が発生しないよう誘導を行なっている。	○	-	-
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための取組	出口近くに方面表示を付けるなどして、スムーズに出庫が出来るよう案内している。	○	-	-
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (03) 施設周辺に交通案内看板の設置	駐車場への案内等の誘導看板を出し、交通誘導に務めている。	○	-	-
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	お中元、お歳暮、母の日など2500円以上を無料配送。また近隣については、店頭での購入品を安価で自宅へ即日配送するサービスを実施。	○	-	-
06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	サイト:イオンショップドットコムを活用したインターネット販売の実施	○	-	-



# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン川口前川店		
取組措置		具体的取組措置	H30	H31	H32
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車NOx・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的な報告、未達の事業者に対して改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。	○	○	○
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、改正省エネ法の定期報告書の提出している。	○	○	○
02	モーダルシフトの推進 ( )	長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進。また、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送の実施。	○	○	○
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ( )	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。	○	○	○
04	積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。	○	○	○
04	積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更などを実施。	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>04 積載率の向上</p> <p>(03) 輸送量に応じた適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施</p> <p>(01) 混載便利用の取組</p>	<p>①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み ③海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み ④海外輸入商品の多港あげによる国内幹線輸送の削減</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施</p> <p>(02) 他者との共同輸配送の取組</p>	<p>①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み ②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進</p> <p>(01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨</p>	<p>年2回イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車両には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進</p> <p>(02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認</p>	<p>イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施。</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進</p> <p>(03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認</p>	<p>エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。</p>	○	○	○
<p>07 計画的な貨物輸送の推進</p> <p>(01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。</p>	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 02 ) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車輦満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 03 ) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター)、 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 04 ) 輸送トラックの待ち時間の削減	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○
08 物流の効率化 ----- ( 01 ) サードパーティロジスティクスの活用	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティロジスティクスを実施している。	○	○	○
08 物流の効率化 ----- ( 02 ) 物流拠点の活用	輸送距離の短縮するため、最適な物流ネットワークを構築をめざし、物流センターの整備を行っている。	○	○	○
08 物流の効率化 ----- ( 03 ) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ----- ( )	取引先さまとは、イオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による情報共有を実施。社内関連部署とは環境会議を定期的実施。	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ( )	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。配送業者に対して駐車時のアイドリングを禁止している。	○	○	○
---------------------------------------	---	---	---	---

## 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン川口前川店				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01 公共交通機関の利用促進 ( 01 ) 公共交通機関利用の啓発	店舗HP及びフロアガイド、イオンモール川口前川のチラシで公共交通機関のご案内を実施。			○	○	○	
01 公共交通機関の利用促進 ( 04 ) 電車及びバス利用者の利便性の向上	イオンモール川口前川終点の路線バスについては、施設敷地内まで乗り入れを実施。			○	○	○	
02 自転車の利用促進 ( 01 ) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	駐輪台数:約1,700台の駐輪場の設置。			○	○	○	
02 自転車の利用促進 ( 03 ) 自転車利用者の利便性の向上	無償で利用できる空気入れの設置。			○	○	○	
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ( 01 ) 低燃費車利用の啓発	イオンモール川口前川フロアガイドで電気自動車充電器設置のご案内を実施。			○	○	○	

## 自動車地球温暖化対策実施方針

03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ..... ( 03 ) 電気自動車用充電器等の整備	1階平面P4駐車場に急速充電器:1台、普通充電器:1台 4階立体駐車場Bゾーンに普通充電器:10台	○	○	○
04 来場者に対するエコドライブの啓発 ..... ( )	駐車場内にアイドリングストップ啓蒙ポスター掲示実施。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 01 ) 交通整理員の配置	曜日・時間帯の混雑状況に応じて交通警備員配置。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 02 ) スムーズな入出庫のための取組	駐車場事前精算機の設置。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 03 ) 施設周辺に交通案内看板の設置	設置済み。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... ( 01 ) 荷物の宅配サービスの実施	即日便の実施。母の日、父の日、お中元、お歳暮ギフト等2,500円以上の商品無料配送サービス実施。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... ( 02 ) インターネット等を利用した物品販売の促進	ネットスーパーで受付、宅配サービス実施。	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

06 宅配サービスの実施等	承り時の日付及び時間指定の確認実施。	○	○	○
(03) 再配達防止の取組や効率のよい配送の取組				

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン北浦和店	H30	H31	H32	
取組措置		具体的取組措置					
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	(01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車NOx・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的な報告、未達の事業者に対して改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。			○	○	○
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定							
(02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認		イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、改正省エネ法の定期報告書の提出している。			○	○	○
02 モーダルシフトの推進	( )	長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進。また、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送の実施。			○	○	○
03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握	( )	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。			○	○	○
04 積載率の向上	(01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。			○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>04 積載率の向上                  ( 02 ) 梱包資材の軽量化・小型化の実施</p>	<p>PB商品の梱包資材の簡素化：段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更などを実施。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上                  ( 03 ) 輸送量に応じた適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施                  ( 01 ) 混載便利用の取組</p>	<p>①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み                  ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み                  ③海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み                  ④海外輸入商品の多港あげによる国内幹線輸送の削減</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施                  ( 02 ) 他者との共同輸配送の取組</p>	<p>①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み                  ②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進                  ( 01 ) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨</p>	<p>年2回イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車両には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進                  ( 02 ) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認</p>	<p>イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施。</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進                  ( 03 ) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認</p>	<p>エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。</p>	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

07 計画的な貨物輸送の推進 ..... ( 01 ) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ..... ( 02 ) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車輛満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ..... ( 03 ) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを指示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター)。 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ..... ( 04 ) 輸送トラックの待ち時間の削減	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○
08 物流の効率化 ..... ( 01 ) サードパーティーロジスティクスの活用	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティーロジスティクスを実施している。	○	○	○
08 物流の効率化 ..... ( 02 ) 物流拠点の活用	輸送距離の短縮するため、最適な物流ネットワークを構築をめざし、物流センターの整備を行っている。	○	○	○
08 物流の効率化 ..... ( 03 ) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○



# 自動車地球温暖化対策実施方針

09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ( )	取引先さまとは、イオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による情報共有を実施。社内関連部署とは環境会議を定期的実施。	○	○	○
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ( )	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。配送業者に対して駐車時のアイドリングを禁止している。	○	○	○

## 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社		事業所名	イオン北浦和店		
取組措置	具体的取組措置			H30	H31	H32
02 自転車の利用促進 ( 01 ) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	ご来店のお客さま用の駐輪上の設置			○	○	○
02 自転車の利用促進 ( 03 ) 自転車利用者の利便性の向上	無料空気入れを設置			○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ( 01 ) 荷物の宅配サービスの実施	お買い上げ商品において、持ち帰りが難しい大型商品や重い商品においては、「イオンの即日便」で宅配サービスを実施している。			○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ( 03 ) 再配達防止の取組や効率のよい配送の取組	即日便を利用されるお客さまには配達時間のご案内をしている。			○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン北戸田店・イオンスタイル北戸田		
取組措置		具体的取組措置	H30	H31	H32
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車NOx・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的な報告、未達の事業者に対して改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。	○	○	○
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、改正省エネ法の定期報告書の提出している。	○	○	○
02	モーダルシフトの推進 ( )	長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進。また、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送の実施。	○	○	○
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ( )	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。	○	○	○
04	積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。	○	○	○
04	積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更などを実施。	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>04 積載率の向上</p> <p>(03) 輸送量に応じた適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施</p> <p>(01) 混載便利用の取組</p>	<p>①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み ③海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み ④海外輸入商品の多港あげによる国内幹線輸送の削減</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施</p> <p>(02) 他者との共同輸配送の取組</p>	<p>①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み ②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進</p> <p>(01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨</p>	<p>年2回イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車両には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進</p> <p>(02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認</p>	<p>イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施。</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進</p> <p>(03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認</p>	<p>エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。</p>	○	○	○
<p>07 計画的な貨物輸送の推進</p> <p>(01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。</p>	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 02 ) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車輦満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 03 ) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター)。 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 04 ) 輸送トラックの待ち時間の削減	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○
08 物流の効率化 ----- ( 01 ) サードパーティロジスティクスの活用	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティロジスティクスを実施している。	○	○	○
08 物流の効率化 ----- ( 02 ) 物流拠点の活用	輸送距離の短縮するため、最適な物流ネットワークを構築をめざし、物流センターの整備を行っている。	○	○	○
08 物流の効率化 ----- ( 03 ) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ----- ( )	取引先さまとは、イオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による情報共有を実施。社内関連部署とは環境会議を定期的実施。	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ( )	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。配送業者に対して駐車時のアイドリングを禁止している。	○	○	○
---------------------------------------	---	---	---	---

## 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン北戸田店・イオンスタイル北戸田		
取組措置		具体的取組措置	H30	H31	H32
01	公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発	・店内入口にバス時刻表掲示、サービスカウンター案内 ・店舗近隣JR各駅よりシャトルバスを発着。	○	○	○
01	公共交通機関の利用促進 (02) 公共交通機関利用者へのサービス・インセンティブの付与	・店内入口にバス時刻表掲示、サービスカウンター案内。 ・上記のシャトルバスは無料にて運行。	○	○	○
01	公共交通機関の利用促進 (03) 送迎バスの運行	・戸田公園駅東口、戸田駅入口、武蔵浦和駅西口の3か所よりイオンモール北戸田まで無料送迎バス運行。(土・日・祝・15日・20日・30日)	○	○	○
01	公共交通機関の利用促進 (04) 電車及びバス利用者の利便性の向上	繁忙時における無料送迎バスの増便。	○	○	○
02	自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	・駐輪場全館1,000台収容可能。	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

02 自転車の利用促進 ..... ( 02 ) 自転車利用者へサービス・インセンティブの付与	・イオンバイクにて無償利用出来る空気入れの設置。	○	○	○
02 自転車の利用促進 ..... ( 03 ) 自転車利用者の利便性の向上	・駐輪場平面 主要各入口近辺に設置、イオンバイク売場にて各種修理、保険加入の促進。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ..... ( 01 ) 低燃費車利用の啓発	・5F駐車場にて電気自動車用充電器(普通)を2017年増設。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ..... ( 02 ) 低燃費車利用者へのサービス・インセンティブの付与	・電気自動車充電器(普通)は、無料にて提供。 ・急速充電器、WAONでの支払いでWAON POINT付与。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ..... ( 03 ) 電気自動車用充電器等の整備	・2017年に普通充電器設備を7台増設、(急速、1台・普通、8台)計・9台の設置。	○	○	○
04 来場者に対するエコドライブの啓発 ..... ( )	・駐車場各箇所、【アイドリングストップ】サインの設置。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 01 ) 交通整理員の配置	・平日・土日・祝日に応じ来店客を予測し、適正配置。	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 02 ) スムーズな入出庫のための取組	・各駐車場出口にパトライトの設置。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 03 ) 施設周辺に交通案内看板の設置	・各駐車場出口に方面サインの設置。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 04 ) その他渋滞防止策	・立哨、交通警備員によるスムーズな誘導。(敷地内)	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... ( 01 ) 荷物の宅配サービスの実施	・社会行事(中元・歳暮・母の日等)お買上げ金額により配送料無料サービス実施。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... ( 02 ) インターネット等を利用した物品販売の促進	・食品等のネットスーパーでインターネット販売。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... ( 03 ) 再配達防止の取組や効率のよい配送の取組	・お客さまとの承りを正確に実施する。	○	○	○

## 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン熊谷店			
	取組措置		具体的取組措置	H30	H31	H32

# 自動車地球温暖化対策実施方針

01 公共交通機関の利用促進 ..... ( 01 ) 公共交通機関利用の啓発	店内放送での呼びかけ	○	○	○
02 自転車の利用促進 ..... ( 01 ) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	駐輪場の設置および維持管理	○	○	○
02 自転車の利用促進 ..... ( 02 ) 自転車利用者へサービス・インセンティブの付与	サイクル売場での空気入れ設置(無料)	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ..... ( 01 ) 低燃費車利用の啓発	EV充電器設置	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ..... ( 02 ) 低燃費車利用者へのサービス・インセンティブの付与	普通充電器利用無料(WAONカード利用)	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ..... ( 03 ) 電気自動車用充電器等の整備	普通充電器無料、高速充電器の設置	○	○	○
04 来場者に対するエコドライブの啓発 ..... ( )	アイドリングストップ啓発ポスター、店内放送	○	○	○



# 自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	時間帯別に出入り口に配置し、交通誘導を実施	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための取組	店舗周辺道路へ駐車場出入り口の交通案内看板設置	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (03) 施設周辺に交通案内看板の設置	店舗周辺道路へ駐車場出入り口の交通案内看板設置	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	イオンのオンラインショッピングサイトを展開	○	○	○

## 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン狭山店			
取組措置		具体的取組措置		H30	H31	H32
01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発		狭山市駅から無料シャトルバスを運行している		○	○	○
01 公共交通機関の利用促進 (03) 送迎バスの運行		あさ9時～よる9時の時間帯、1時間に3本を運行中		○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

01 公共交通機関の利用促進 ..... (04) 電車及びバス利用者の利便性の向上	狭山市駅からの無料シャトルバスの運行	○	○	○
02 自転車の利用促進 ..... (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	正面入口の新設駐輪場含め500台駐輪可能	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ..... (01) 低燃費車利用の啓発	EV充電器用ステーション2器設置あり	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ..... (03) 電気自動車用充電器等の整備	EV充電器用ステーション2器設置あり	○	○	○
04 来場者に対するエコドライブの啓発 ..... ( )	アイドリングストップポスター掲示、アイドリングストップの店内放送実施	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... (01) 交通整理員の配置	土曜日・日曜日及び繁忙日に配置	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... (02) スムーズな入出庫のための取組	誘導員配置・館内放送・う回路告知	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 03 ) 施設周辺に交通案内看板の設置	施設内に駐車場案内表示あり	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 04 ) その他渋滞防止策	安全カメラ監視による事前渋滞を把握する措置	○	○	○

## 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンせんげん台店	H30	H31	H32	
取組措置		具体的取組措置					
01 公共交通機関の利用促進 ..... ( 03 ) 送迎バスの運行	せんげん台店⇒武里団地方面⇒せんげん台駅⇒せんげん台店、せんげん台店⇒大袋方面⇒せんげん台店 の2ルート運行			○	○	○	
02 自転車の利用促進 ..... ( 01 ) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	ご来店のお客さまにご利用いただく駐輪場の設置			○	○	○	
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 01 ) 交通整理員の配置	毎日駐車場出入口に交通誘導員を配置している			○	○	○	
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 02 ) スムーズな入出庫のための取組	混雑時は出口ゲートを開放し渋滞の緩和に対応している			○	○	○	

# 自動車地球温暖化対策実施方針

06 宅配サービスの実施等 ----- (01) 荷物の宅配サービスの実施	即日便 当日12時(一部15時)まで受付し14時~20時配達、料金100円~	○	○	○
---	--	---	---	---

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン新座店	H30	H31	H32	
取組措置		具体的取組措置					
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車NOx・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的な報告、未達の事業者に対して改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。			○	○	○	
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、改正省エネ法の定期報告書の提出している。			○	○	○	
02 モーダルシフトの推進 ----- ( )	長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進。また、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送の実施。			○	○	○	
03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- ( )	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。			○	○	○	
04 積載率の向上 ----- (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。			○	○	○	

# 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>04 積載率の向上                  ( 02 ) 梱包資材の軽量化・小型化の実施</p>	<p>PB商品の梱包資材の簡素化：段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更などを実施。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上                  ( 03 ) 輸送量に応じた適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施                  ( 01 ) 混載便利用の取組</p>	<p>①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み                  ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み                  ③海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み                  ④海外輸入商品の多港あげによる国内幹線輸送の削減</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施                  ( 02 ) 他者との共同輸配送の取組</p>	<p>①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み                  ②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進                  ( 01 ) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨</p>	<p>年2回イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車両には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進                  ( 02 ) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認</p>	<p>イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施。</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進                  ( 03 ) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認</p>	<p>エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。</p>	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 01 ) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 02 ) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車輛満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 03 ) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを指示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター)。 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 04 ) 輸送トラックの待ち時間の削減	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○
08 物流の効率化 ----- ( 01 ) サードパーティーロジスティクスの活用	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティーロジスティクスを実施している。	○	○	○
08 物流の効率化 ----- ( 02 ) 物流拠点の活用	輸送距離の短縮するため、最適な物流ネットワークを構築をめざし、物流センターの整備を行っている。	○	○	○
08 物流の効率化 ----- ( 03 ) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ( )	取引先さまとは、イオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による情報共有を実施。社内関連部署とは環境会議を定期的を実施。	○	○	○
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ( )	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。配送業者に対して駐車時のアイドリングを禁止している。	○	○	○

## 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン新座店	H30	H31	H32	
取組措置		具体的取組措置					
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	820台の駐輪場を確保			○	○	○	
02 自転車の利用促進 (02) 自転車利用者へサービス・インセンティブの付与	一定時間の駐輪場の無料駐輪サービスを提供する			○	○	○	
02 自転車の利用促進 (03) 自転車利用者の利便性の向上	無料空気入れを1箇所設置			○	○	○	
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	土日は交通誘導員を配置し交通誘導を実施			○	○	○	

# 自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... (02) スムーズな入出庫のための取組	土日は交通誘導員を配置し交通誘導を実施	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... (01) 荷物の宅配サービスの実施	買い上げ商品の配達をサービス	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	食品を中心にネットスーパーにてインターネット販売を実施	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... (03) 再配達防止の取組や効率のよい配送の取組	受注時に配達日及び配達時間について確認	○	○	○

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン羽生店	H30	H31	H32	
取組措置		具体的取組措置					
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ..... (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車NOx・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的な報告、未達の事業者に対して改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。			○	○	○	
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ..... (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、改正省エネ法の定期報告書の提出している。			○	○	○	



## 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>02 モーダルシフトの推進  ( )</p>	<p>長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進。また、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送の実施。</p>	○	○	○
<p>03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握  ( )</p>	<p>業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上  ( 01 ) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上</p>	<p>①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上  ( 02 ) 梱包資材の軽量化・小型化の実施</p>	<p>PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更などを実施。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上  ( 03 ) 輸送量に応じた適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施  ( 01 ) 混載便利用の取組</p>	<p>①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み  ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み  ③海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み  ④海外輸入商品の多港あげによる国内幹線輸送の削減</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施  ( 02 ) 他者との共同輸配送の取組</p>	<p>①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み  ②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減</p>	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	年2回イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車輛には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施。	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車輛満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター)。渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (04) 輸送トラックの待ち時間の削減	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

08 物流の効率化 ..... ( 01 ) サードパーティロジスティクスの活用	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティロジスティクスを実施している。	○	○	○
08 物流の効率化 ..... ( 02 ) 物流拠点の活用	輸送距離の短縮するため、最適な物流ネットワークを構築をめざし、物流センターの整備を行っている。	○	○	○
08 物流の効率化 ..... ( 03 ) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ..... ( )	取引先さまとは、イオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による情報共有を実施。社内関連部署とは環境会議を定期的実施。	○	○	○
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ..... ( )	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。配送業者に対して駐車時のアイドリングを禁止している。	○	○	○

### 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン羽生店				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01 公共交通機関の利用促進 ..... ( 01 ) 公共交通機関利用の啓発		バス路線・時刻表をフロアガイドに記載し無料配布 公共交通機関等の利用についてHPに掲載			○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

01 公共交通機関の利用促進 ..... ( 03 ) 送迎バスの運行	羽生駅からイオンモール羽生まで運行(片道200円)	○	○	○
02 自転車の利用促進 ..... ( 01 ) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	敷地内に600台駐輪場を完備	○	○	○
02 自転車の利用促進 ..... ( 02 ) 自転車利用者へサービス・インセンティブの付与	無料駐輪の実施	○	○	○
02 自転車の利用促進 ..... ( 03 ) 自転車利用者の利便性の向上	南側入口に空気入を設置。サイクル売場でも無料で実施している。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ..... ( 02 ) 低燃費車利用者へのサービス・インセンティブの付与	電気自動車の充電できる設備を設置	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ..... ( 03 ) 電気自動車用充電器等の整備	充電ステーション設置済	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 01 ) 交通整理員の配置	土日祝日、セールス時、警備員配置し交通誘導を実施	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 02 ) スムーズな入出庫のための取組	周辺道路の渋滞緩和のため、出入口の幅、進行方向に配慮している。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 03 ) 施設周辺に交通案内看板の設置	方面の案内の掲示を実施	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 04 ) その他渋滞防止策	土日祝日、セールス時、誘導看板の設置	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... ( 01 ) 荷物の宅配サービスの実施	お中元・お歳暮・母の日等2500円以上無料配送実施	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... ( 02 ) インターネット等を利用した物品販売の促進	ネットスーパーの拡大(増便)	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... ( 03 ) 再配達防止の取組や効率のよい配送の取組	受注時に配達日及び配達時間の指定確認	○	○	○

### 《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン羽生店			
	取組措置		具体的取組措置	H30	H31	H32

## 自動車地球温暖化対策実施方針

01	マイカー通勤に係る重点目標の設定 ( )	マイカー通勤率を3%削減する。	○	○	○
02	公共交通機関への転換の推進 (01) 公共交通機関利用促進のための情報提供	後方にバス時刻表の掲示	○	○	○
02	公共交通機関への転換の推進 (02) 送迎バス等の運行	公共バスの運行	○	○	○
02	公共交通機関への転換の推進 (03) 公共交通機関利用者への優遇策	最終便は、従業員入口に停車	○	○	○
03	自転車への転換の推進 (01) 自転車の安全利用の促進	安全衛生委員会の議題とする	○	○	○
03	自転車への転換の推進 (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	従業員駐輪場の完備	○	○	○
03	自転車への転換の推進 (04) 自転車通勤者への優遇策	2km以上自転車通勤者に対し月700円補助	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

04 時差通勤の実施 ( )	開店前から閉店後の作業まで、業務に合わせて勤務時間を計画、勤務時間に合わせた時差通勤の実施。	○	○	○
06 エコ通勤の推進 (01) 自家用自動車の通勤手当及び許可基準等通勤制度の見直し	勤務時間帯が日中で距離が3km以内の従業員には、自転車通勤を検討してもらう	○	○	○
06 エコ通勤の推進 (04) エコ通勤キャンペーン等啓発活動の実施	従業員用掲示版に啓蒙ポスターを掲示する。	○	○	○
07 エコドライブの推進 (01) エコドライブの啓発	後方通路のアイドリングストップ宣言の啓蒙ポスター掲示	○	○	○

## 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン武蔵狭山店	H30	H31	H32	
取組措置		具体的取組措置					
01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発		専門店に対して公共交通機関利用等についての啓発			○	○	○
01 公共交通機関の利用促進 (03) 送迎バスの運行		イオン狭山店との共同運行にて狭山市駅及び狭山台コースにてシャトルバスを運行			○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

01 公共交通機関の利用促進 ..... (04) 電車及びバス利用者の利便性の向上	1-(2)運行を営業時間外も実施(従業員向け)	○	○	○
02 自転車の利用促進 ..... (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	店舗東側出入り口及び西出入り口と2Fロッセリア側に駐輪場を設置	○	○	○
02 自転車の利用促進 ..... (03) 自転車利用者の利便性の向上	駐輪場は無料開放、屋根付き駐輪場 2か所設置	○	○	○
04 来場者に対するエコドライブの啓発 ..... ( )	納品業者に対して啓発ポスター掲示	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... (01) 交通整理員の配置	利用者の増加する曜日、イベント時は交通整理員配置	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... (02) スムーズな入出庫のための取組	周辺道路渋滞緩和のため、出入口の幅、設置、方を配慮、地域イベント(祭礼等)時は時間帯閉鎖	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... (03) 施設周辺に交通案内看板の設置	方面(川口、入間、狭山市街等)、県道、国道 方面の看板設置	○	○	○



# 自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (04) その他渋滞防止策	店舗周りに駐車場案内を設置。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ----- (01) 荷物の宅配サービスの実施	ご購入頂いた商品の即日配達を実施。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ----- (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	イオンネットスーパーで、毎日の生活に必要な食料品・日用品をご注文のお客さまへお届けするサービスを実施している。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ----- (03) 再配達防止の取組や効率のよい配送の取組	配達希望時間帯に在宅を確認し、配達時間決定	○	○	○

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンモール与野店・イオン与野		
取組措置		具体的取組措置	H30	H31	H32
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車NOx・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的な報告、未達の事業者に対して改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。		○	○	○
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、改正省エネ法の定期報告書の提出している。		○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>02 モーダルシフトの推進  ( )</p>	<p>長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進。また、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送の実施。</p>	○	○	○
<p>03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握  ( )</p>	<p>業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法 ①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上  ( 01 ) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上</p>	<p>①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上  ( 02 ) 梱包資材の軽量化・小型化の実施</p>	<p>PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更などを実施。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上  ( 03 ) 輸送量に応じた適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施  ( 01 ) 混載便利用の取組</p>	<p>①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み  ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み  ③海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み  ④海外輸入商品の多港あげによる国内幹線輸送の削減</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施  ( 02 ) 他者との共同輸配送の取組</p>	<p>①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み  ②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減</p>	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	年2回イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車輛には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施。	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車輛満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター)。渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (04) 輸送トラックの待ち時間の削減	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

08 物流の効率化 ..... ( 01 ) サードパーティロジスティクスの活用	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティロジスティクスを実施している。	○	○	○
08 物流の効率化 ..... ( 02 ) 物流拠点の活用	輸送距離の短縮するため、最適な物流ネットワークを構築をめざし、物流センターの整備を行っている。	○	○	○
08 物流の効率化 ..... ( 03 ) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ..... ( )	取引先さまとは、イオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による情報共有を実施。社内関連部署とは環境会議を定期的実施。	○	○	○
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ..... ( )	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。配送業者に対して駐車時のアイドリングを禁止している。	○	○	○

### 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンモール与野店・イオン与野		
	取組措置		具体的取組措置		
			H30	H31	H32
01 公共交通機関の利用促進 ..... ( 01 ) 公共交通機関利用の啓発		バス時刻表を店内掲示。サービスカウンターにて案内。	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

01 公共交通機関の利用促進 ..... ( 03 ) 送迎バスの運行	22時～23時30分まで4便(イオンモール与野～北与野駅～さいたま新都心駅)の運行をしている	○	○	○
01 公共交通機関の利用促進 ..... ( 04 ) 電車及びバス利用者の利便性の向上	22時～23時30分まで4便(イオンモール与野～北与野駅～さいたま新都心駅)の運行をしている	○	○	○
02 自転車の利用促進 ..... ( 01 ) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	1, 200台の駐輪場を確保。 不要自転車の撤去を定期的を実施し、駐輪スペースの確保をしている。	○	○	○
02 自転車の利用促進 ..... ( 02 ) 自転車利用者へサービス・インセンティブの付与	無料の空気入れをイオンバイク外売場に設置。	○	○	○
02 自転車の利用促進 ..... ( 03 ) 自転車利用者の利便性の向上	無料の空気入れをイオンバイク外売場に設置。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ..... ( 01 ) 低燃費車利用の啓発	店内催事として、「エコドライブ」イベントを開催。無料のタイヤ空気圧点検やエコドライブシュミレーター体験、次世代自動車の展示。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ..... ( 02 ) 低燃費車利用者へのサービス・インセンティブの付与	2014年7月から電気自動車充電器(急速1台、普通1台)を設置。 2018年2月より11台普通充電器増設。	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ..... ( 03 ) 電気自動車用充電器等の整備	2014年7月から電気自動車充電器(急速1台、普通1台)を設置。 2018年2月より11台普通充電器増設。	○	○	○
04 来場者に対するエコドライブの啓発 ..... ( )	店内催事として、「エコドライブ」イベントを開催。無料のタイヤ空気圧点検 やエコドライブシュミレーター体験、次世代自動車の展示。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 01 ) 交通整理員の配置	警備員を配置して、交通誘導を実施。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 02 ) スムーズな入出庫のための取組	曜日・セールスに応じて、立哨警備員の人数を増やし、交通誘導を実施し ている。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 03 ) 施設周辺に交通案内看板の設置	誘導看板を出し、対応している。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 04 ) その他渋滞防止策	周辺イベント会場のイベント内容を把握し、混雑の可能性のある導線から の出庫を抑制し混雑緩和対策を行っている。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... ( 01 ) 荷物の宅配サービスの実施	当日配送便(1箱300円)として近隣への宅配サービスの承りを実施。お 中元・お歳暮・母の日等、2,500円以上のお買い上げにて無料配送実 施。	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンレイクタウンMORI・イオンスタイルレイクタウン				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンの物流の機能会社であるイオングロNO <sub>x</sub> ・PM法等)に適合した車輛の使用状況について定期的な報告、未達の事業者に対して改善計画の提出を求めている。また、新規に委託する事業は、環境配慮車輛の使用を委託要件としている。			○	○	○
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	イオンの物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)は、改正省エネ法の定期報告書の提出している。			○	○	○
02	モーダルシフトの推進 ( )	長距離幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフトを推進。また、メーカーとの専用貨物列車の共同運行、31フィートコンテナによる往復マッチング輸送の実施。			○	○	○
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ( )	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。①燃料法①燃費法 ②トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。			○	○	○
04	積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。			○	○	○
04	積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	PB商品の梱包資材の簡素化:段ボールからシュリンク・クラフト紙による包装への変更などを実施。			○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>04 積載率の向上</p> <p>(03) 輸送量に応じた適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施</p> <p>(01) 混載便利用の取組</p>	<p>①PB商品のミルクラン集荷による納品車両の削減と効率化の取り組み ②店舗配送の帰り便による商品集荷の取り組み ③海外拠点での輸入コンテナの積み合せによる店舗までの直送の取り組み ④海外輸入商品の多港あげによる国内幹線輸送の削減</p>	○	○	○
<p>05 混載便の利用又は共同輸配送の実施</p> <p>(02) 他者との共同輸配送の取組</p>	<p>①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取り組み ②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進</p> <p>(01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨</p>	<p>年2回イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車両には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進</p> <p>(02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認</p>	<p>イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入計画の提出と導入要請。年2回、低燃費車の車両台帳を報告いただき、導入状況の確認を実施。</p>	○	○	○
<p>06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進</p> <p>(03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認</p>	<p>エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。また車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。</p>	○	○	○
<p>07 計画的な貨物輸送の推進</p> <p>(01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。</p>	○	○	○



# 自動車地球温暖化対策実施方針

07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 02 ) 多頻度少量輸送の見直し	高回転商品については、極力発注単位がFTL(車輦満載)、FTC(コンテナ満載)となるよう調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 03 ) 道路混雑時の輸配送の見直し	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。 高速道路情報のリアルタイム把握の実施(北関東センター)。 渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう、調整している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 04 ) 輸送トラックの待ち時間の削減	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○
08 物流の効率化 ----- ( 01 ) サードパーティロジスティクスの活用	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティロジスティクスを実施している。	○	○	○
08 物流の効率化 ----- ( 02 ) 物流拠点の活用	輸送距離の短縮するため、最適な物流ネットワークを構築をめざし、物流センターの整備を行っている。	○	○	○
08 物流の効率化 ----- ( 03 ) 輸送距離及び回数を削減する取組	グループ会社の物流統合による取り組みを推進していく。	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ----- ( )	取引先さまとは、イオン鉄道輸送研究会、イオン環境車両研究会による情報共有を実施。社内関連部署とは環境会議を定期的実施。	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ( )	納品時間の指定による計画的な荷受け取り組み、および総量納品による荷受け時間の短縮に取り組んでいる。配送業者に対して駐車時のアイドリングを禁止している。	○	○	○
---------------------------------------	---	---	---	---

## 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンレイクタウンMORI・イオンスタイルレイクタウン		
取組措置	具体的取組措置		H30	H31	H32
01 公共交通機関の利用促進 ( 01 ) 公共交通機関利用の啓発	店内放送での、公共交通機関利用の呼びかけ。		○	○	○
01 公共交通機関の利用促進 ( 02 ) 公共交通機関利用者へのサービス・インセンティブの付与	電車でご来店のお客さまにグリーンスコアを付与。		○	○	○
01 公共交通機関の利用促進 ( 03 ) 送迎バスの運行	最寄駅から店舗までの無料バスの運行実施。		○	○	○
01 公共交通機関の利用促進 ( 04 ) 電車及びバス利用者の利便性の向上	電車利用者に対し、最寄駅から店舗までの無料バスの運行実施。		○	○	○
02 自転車の利用促進 ( 01 ) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	駐輪台数3,140台の確保。		○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ..... ( 02 ) 低燃費車利用者へのサービス・インセンティブの付与	電気自動車の急速充電器の利用が30分間無料。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ..... ( 03 ) 電気自動車用充電器等の整備	電気自動車の急速充電ステーションの設置、急速充電器2機、普通充電器22機。	○	○	○
04 来場者に対するエコドライブの啓発 ..... ( )	アイドリングストップ等の啓発ポスターの掲示。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 01 ) 交通整理員の配置	交通整理員を配置している。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ..... ( 02 ) スムーズな入出庫のための取組	駐車場入口混雑状況のご案内実施、各方面からの一番便利な駐車場入口や駐車場情報をご案内。出庫の際、電子マネーWAON使用可。現在混雑緩和のためオーバブリッジを建設中、2018年10月末完成予定(使用は11月末から)	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... ( 01 ) 荷物の宅配サービスの実施	ネットスーパーの実施	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ..... ( 02 ) インターネット等を利用した物品販売の促進	ネットスーパーの実施	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	ザ・ビッグ八潮南店				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
02	自転車の利用促進	ご来店のお客さまの駐輪場を設置			○	○	○
( 01 )	十分な広さの駐輪場の設置・維持管理						
04	来場者に対するエコドライブの啓発	アイドリングストップのお願い等の店内放送実施			○	○	○
( )							
06	宅配サービスの実施等	イオンのオンラインショッピングサイトを展開			○	○	○
( 02 )	インターネット等を利用した物品販売の促進						